

岡山蘭学の群像

日時：平成27年4月16日(木) 午後2時～4時

場所：山陽新聞社 さん太ホール (Tel 086-803-8222)

入場
無料

「日本初の女医」

おイネの生涯、そして謎」

基調講演

「シーボルトとおイネ」 東海大学教授 沓澤 宣賢

シンポジウム

[コーディネーター]



東海大学教授
日本シーボルト協会代表幹事
沓澤 宣賢



シーボルト記念館
館長
織田 毅



西予市文化の里
統括館長
堀内 八重



ジャーナリスト
下山 宏昭

岡山蘭学の群像



イネ (大洲市立博物館所蔵)

シーボルトの娘で、日本初の西洋産科女医として活躍した楠本イネ(1827-1903)。1845年、19歳のとき、父シーボルトの高弟だった石井宗謙を頼って岡山に移り住み産科の修行に励む。宗謙との間に娘タカが生まれたこともあり、小説やドラマの題材となってきた。しかし、イネの生涯についてはまだ分からないことも少なくない。また最近、新たな事実も明らかになりつつある。



イネの娘 タカ (大洲市立博物館所蔵)



イネの外科医療器具 (長崎歴史文化博物館所蔵)

シンポジウムでは、4人の専門家が最新の研究成果をもとに、イネの波乱に富んだ生涯と功績を改めて紹介するとともに、宗謙と過ごした日々や娘タカの出生などその謎にも迫り、新しい「イネ像」を浮き彫りにする

出演者プロフィール

沓澤 宣賢

東海大学教授。日本シーボルト協会代表幹事。シーボルトとその子孫を中心に日蘭関係史を総合研究。著書に「東禅寺事件にみるシーボルトの外交的活動について」など

織田 毅

シーボルト記念館館長。昨年秋、特別展「楠本いねとその時代」を企画開催。著書に「幕末維新时期における楠本いね」、「海援隊秘記」など

堀内 八重

西予市文化の里(先哲記念館・開明学校・民具館・米博物館)統括館長。著書に「江戸時代の教育資料概説」「宇和文化ウォッチング」など

下山 宏昭

ジャーナリスト。取材は徹底した現場主義、ドキュメンタリーで受賞多数。著書「幕末維新に生きた石井宗謙と家族の肖像」など

第2回予定

「『珈琲』の文字を作った男～江戸のダ・ヴィンチ 宇田川榕菴」(仮)

平成27年7月30日(木) 山陽新聞社 さん太ホール

オランダおイネ花まつり(仮)

2015年4月8日～13日

岡山市北区表町商店街一帯

イネが現在の表町で産科の修行に励んだことに因み、診療所跡の通りはオランダ通りと呼ばれている。花まつりは、この一帯・表町商店街を2万本のチューリップで彩り、楽しいイベントを繰り広げる。



今後の活動 イベント予定

岡山の蘭学パネル展(仮)

2015年4月上旬

岡山市北区表町

岡山は全国に先駆けて蘭学に取り組み、日本の近代化を牽引した人物を数多く輩出した。先人の業績、岡山とオランダの結びつきを津山洋学資料館の協力を得てパネルで展示する。



解体新書 (津山洋学資料館寄託資料)